

上高地地域ツキノワグマ対策実践マニュアル

【概要版】

令和5年11月

環境省上高地管理官事務所

北アルプス上高地は、国立公園や特別名勝・特別天然記念物に指定されており、わが国を代表する山岳景勝地であり多くの利用者が訪れるとともに、ツキノワグマの生息地の核心部でもあります。上高地は、人とツキノワグマが利用地域を重複させていることから、ツキノワグマの生息地を保護しながら人的被害を未然に防止し、両者の適切な共存を図ることが求められる場所です。しかし、この地を利用する私たちの意識や対策の不足により、ツキノワグマの行動を変え、あえて被害を招いてしまうことは誰も望まない避けるべきことであり、「地域関係者も公園利用者も、上高地に関わる全ての人々が一体となって対策を実施していく」ことが重要です。

上高地に関わる全ての皆さまには、上記の背景にご理解いただき、本マニュアルの対策実施についてご協力をお願いいたします。

※本マニュアルは、『上高地地域ツキノワグマ対策実践マニュアル（令和5年作成）』の概要版です。本マニュアルの詳しい内容を知りたい方は、『上高地地域ツキノワグマ対策実践マニュアル（令和5年作成）』にて詳細をご覧ください

1 普及啓発

事業者の皆さまは、公園利用者の安全利用を促進するために、以下の普及啓発にご協力をお願いします。必要に応じて環境省から普及啓発資料等をご提供しますので、施設等での掲示・配布にご協力をお願いします。また、毎シーズン初めは地域向け講習会、シーズン終了後はツキノワグマ対策に関する報告会を開催しますので、各事業者の現場スタッフの方々等、幅広くご参加願います。また、公園利用者も含め上高地に関わる全ての皆さまは、上高地ビジターセンター等で開催される野生動物レクチャーへの積極的なご参加をお願いします。

- a. ツキノワグマの基本的な生態
- b. ツキノワグマの生息地に立ち入ることを前提とした利用の仕方（クマ鈴の奨励）
- c. 各自でゴミの持ち帰りや食料の管理等の徹底をすること
- d. ツキノワグマを含む野生動物に餌やりをしないこと
- e. ツキノワグマに遭遇した場合に避けるべきこと
(接近しての観察や写真撮影、大声で叫ぶ、追い払う、走って逃げる等)

2 誘引物（ゴミ、食料等）の管理

食料庫、ゴミ置き場等でのツキノワグマの目撃や被害は、事業者皆さまのご協力のもとで大きく改善されました。公園利用者も含め上高地に関わる全ての皆さまは、引き続き食料やゴミなどの放置、保管庫への入れ忘れなどが無いよう管理を徹底し、上高地での「餌付き個体」（人由来の食べ物を食べたツキノワグマ）の発生件数0を目指しましょう。

<h3>1 食料の管理</h3> <ul style="list-style-type: none">● キャンプ場では食料保管庫を設置し、テント内には食料を置かない（食料保管庫がない場合は、食料をビニール袋などに密閉してテント内に保管）● 食料保管庫は必ず施錠する● 冷蔵庫など屋外に食料を保管しない（やむを得ない場合は常時施錠する）  <p>アラスカ・カトマイ自然公園 キャンプ場食料保管庫の例</p>  <p>屋外の冷蔵庫は クマに荒らされる危険性が高い</p>	<h3>2 ゴミの管理</h3> <ul style="list-style-type: none">● ゴミ保管庫は必ず施錠する● 生ゴミは短時間であっても絶対に屋外に置かない 保管庫内でも、コンテナに入れるなどして臭い対策をする● 缶、瓶などのゴミ箱も倉庫や室内で保管する  <p>鍵付きのしっかりした 生ゴミの保管庫</p>  <p>空き缶やペットボトル類を 屋外に置くとクマに荒らされる 危険性が高い</p>
<h3>3 グリストラップの管理</h3> <ul style="list-style-type: none">● 重い蓋でもクマは簡単に開けることができるので、ボルトなどでしっかりと固定する  <p>クマはグリストラップの 油に誘引され蓋を開ける</p>  <p>グリストラップの蓋は ボルトなどでしっかりと固定</p>	<h3>4 やぶの刈り払い</h3> <ul style="list-style-type: none">● テントサイトや遊歩道周辺はやぶを刈り払って見通しをよくする  <p>遊歩道に沿って刈り払った 笹やぶ</p>  <p>刈り払っていない笹やぶ</p>

【注意】施設の改築やササの刈り払いなどは手続きを要する可能性がありますので、事前にご相談ください。

3 ツキノワグマの目撃があった場合

ツキノワグマの目撃に関する情報は、全て上高地インフォメーションセンターで集約します。目撃情報を得た場合は、巻末「クマ目撃情報用紙」に記載の情報項目を速やかに上高地インフォメーションセンターへご連絡ください。

上高地地域（大正池～横尾）においてツキノワグマが目撃された際は、集約された目撃情報などから次のリスクレベルを決定します（表 3-1）。その後、利用者及び関係者にリスクレベルと併せて目撃情報を周知し、マニュアルの詳細に基づいて具体的対応を実施します。ツキノワグマに近づいて写真撮影する、石などを投げて追い払うなど強い刺激を与える行為は、人的被害につながる可能性がありますので実施しないでください。

表 3-1 リスクレベル一覧

リスクレベル	内容
5（被害発生又は特別警戒）	ツキノワグマによる被害が発生した、又は被害が発生する可能性が高いため、安全の確保及び問題個体の捕獲等を最優先とする。
4（警戒）	ツキノワグマによる今後の被害発生を想定した対策を実施する。
3（注意）	ツキノワグマの行動状況に応じて、通行規制等を実施する。
2（監視）	ツキノワグマの行動を監視する。
1（平常）	ツキノワグマが目撃されたが、特に問題が生じていない。

4 ツキノワグマによる被害にあった場合

4.1 食料やゴミ、人工物等が被害にあった場合

食料やゴミへの摂食が確認された場合の情報は、全て上高地インフォメーションセンターで集約します。公園利用者や地域関係者の安全確保が第一になることから、状況に応じて、歩道当の通行規制や夜間の外出禁止、野営場施設の閉鎖など利用規制措置を実施することがあります。

4.2 ケガ等の被害があった場合

ケガ等を伴う被害があった場合は、全て上高地インフォメーションセンターで集約します。

被害に遭われた方を保護・救助した場合、環境省の指示のもと、周囲の状況を確認しながら、被害者の東京医科大学上高地診療所への搬送をお願いします。

■連絡先

- ・上高地インフォメーションセンター：TEL 0263-95-2433 FAX 0263-95-2651
- ・環境省上高地管理官事務所：TEL 0263-95-2032 FAX 0263-95-2172



クマ目撃情報記入用紙

今後の対策のため情報を集めています。ご協力をお願いします。

●今日の口付をご記入ください。 20 年 月 日

Q1 いつクマを目撃しましたか？ 時 分

【目撃場所】 □ア □B □C □D □E □F □G □H □I □J □K □L □M □N □O □P □Q □R □S □T □U □V □W □X □Y □Z □その他()

(裏面地図に印をつけてください)

Q2 どこで目撃しましたか？

□頭 □脚 □背 □頭と背 □頭と脚

Q3 クマは何頭いましたか？

□1人 □2~5人 □6人以上

Q4 クマ目撃時の周りにいた人数は
何人ですか？

□10m以下(約 m) □30m以下 □30mより遠い

Q5 クマ目撃時のクマとの距離は
どれくらいでしたか？

□声を聞かしていた □ランオを鳴かしていた □目をしていた □何もしていません □その他の音()

Q6 クマ目撃時に何か音を出して
いましたか？

□目撃時のクマは何処にいましたか？ □近づいていた □歩いていた □走っていた □立ちどまった □何か食べていた □その他(具体的に)

Q7 目撃後のクマは何処にいましたか？

□クマがいない(おぼつかず) □逃げた □追いついた □捕まわった □移動した □見失った □移動した □声を出した(具体的に) □その他の行動(具体的に)

Q8 目撃後に目撃者は直りましたか？

□目撃後のクマは何処にいましたか？ □近づいていた □歩いていた □走っていた □立ちどまった □何か食べていた □その他(具体的に) □逃げた □追いついた □捕まわった □移動した □見失った □移動した □声を出した(具体的に) □その他の行動(具体的に)

Q9 目撃後のクマは何処にいましたか？

□目撃後のクマは何処にいましたか？ □近づいていた □歩いていた □走っていた □立ちどまった □何か食べていた □その他(具体的に) □逃げた □追いついた □捕まわった □移動した □見失った □移動した □声を出した(具体的に) □その他の行動(具体的に)

Q10 上高地にクマが生息していることを知っていましたか？

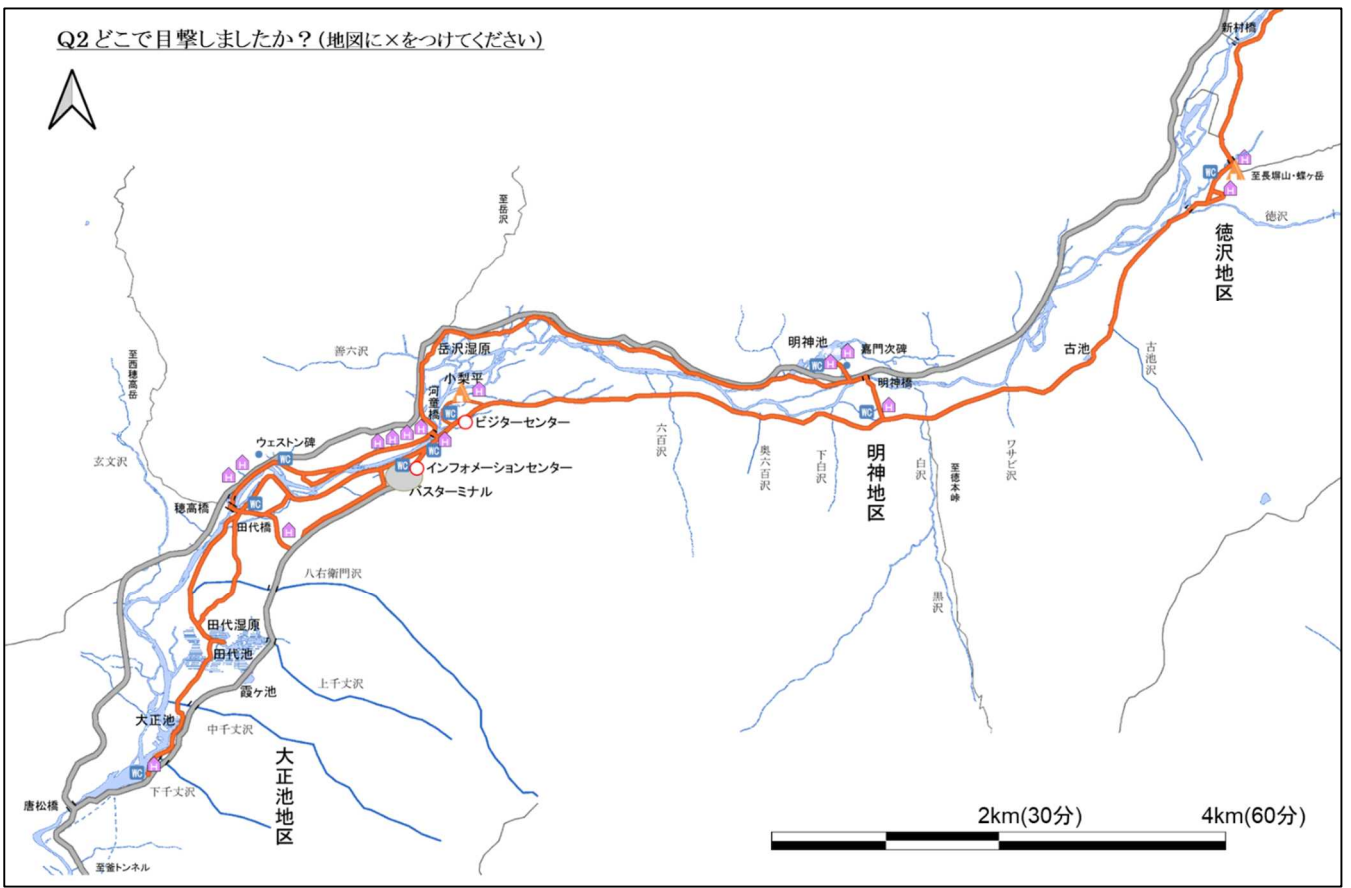
□知っていた □知らなかった

-----ご協力ありがとうございました-----

※恐れ入りますが、上高地管理委員長の方は、お名前と所属先を記入いただいた方を掲載させていただきます。
氏名) _____ 所属先) _____

上高地インフォメーションセンター TEL 0263-95-2433 FAX 0263-95-2651

(おもて)



(うら)